



前期中間考査で力を発揮できるよう勉強を頑張りました。

6月6日（金）に、前期中間考査を実施しました。テストを実施した教科は国語、社会、数学、理科、英語の5教科で、日頃の授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確認するためのものです。学校では、テスト期間中に「10 Days Try」という取組を行い、日頃よりも意識して家庭学習をするようにしています。6月3日（火）と4日（水）の2日間は、「とびうめ学習会」を放課後に実施し、試験直前に自分の苦手な内容について質問ができる取組を行いました。この会には、福岡女子短期大学と筑紫女学園大学の学生が支援のために来てくださっています。また、6月4日（水）と5日（木）の2日間は、「馬場地区公民館放課後勉強会」を開催していただき、筑紫女学園大学と九州情報大学の学生、筑紫台高等学校の生徒が指導してくださいました。中間考査前の学習に意欲的に取り組むことができたと思います。テスト前だけでなく、常に家庭学習に取り組めるようになってくれることを期待しています。



3年生は最後の中学校総合体育大会に出場して頑張っています。

6月7日（土）から始まった筑紫地区中学校総合体育大会において、各部活動の選手の間みなが精一杯頑張っています。試合だけでなく、仲間の応援や大会運営の補助も頑張っていました。とくに3年生にとっては最後の大会となるため、真剣にそして一生懸命に努力する姿が見られました。やっぱり、「**真剣でひたむきに取り組む姿はカッコいい。**」と思いました。試合ですから勝敗が必ずあり、優勝するのは1チームのみです。優勝することはすごいことですが、優勝したチームだけがすごいわけではありません。大切なのは、勝敗ではなく、これまでに取り組んできた過程です。試合当日までに、真剣にそしてひたむきに取り組んできた中で得たものがたくさんあるはずです。うれしい思い、楽しい思い、悔しい思い、悲しい思い、つらい思い、…。いろいろな経験をしたと思います。それら経験してきたことが、これからの人生できっと役に立ちます。3年生は、これから進学や就職に向けて新たな目標をもって、**真剣でひたむきに取り組む、カッコいい姿**を見せてくれることを期待しています。

なお、本校からは男子ソフトテニス部（団体）、陸上部（複数種目）、ソフトボール部（他校との合同チーム）、剣道部（女子団体、個人）、拠点校部活動として本校生徒が活動している太宰府東中学校男子バスケットボール部が筑前地区大会に出場します。県大会出場をめざして頑張りますので応援をよろしくお願いします。

また、吹奏楽部員は、7月末にある筑前地区吹奏楽コンクールに向けて、県大会出場をめざして猛練習中です。美術部員は、様々なコンクールでの入賞を目標に、集中して出展作品を制作しています。

地域親善大使が主体となり、地区別集会を実施しました。

6月27日（金）に、自治会長の皆様に来校していただき、地区別集会を実施しました。地区別集会の目的は、生徒のみんなに次の3つのことを考えてほしいからです。「①自治会長の皆様から直接お話を聞くことで、地域とふれ合い地域から学ぼうとすること。」「②各地域の夏祭り等の手伝いの役割分担をすることで、地域の役に立とうとすること。」「③地域親善大使が中心となって活動することで、生徒主体で動こうとする意識をもつこと。」当日は、親善大使の生徒が進行を務め、自治会長の皆様からこれからの自治会行事や中学生に担ってほしいことなどを話していただきました。また、PTA地区委員の方にもご参加いただき、自治会の中での生徒の活動について確認していただきました。



7月9、10日の2日間は、本校2年生が職場体験で地域の事業所の皆様にお世話になります。これからも、地域の皆様方には、本校生徒を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

7月は同和問題啓発強調月間です。自分にできることを考えてみましょう。

同和問題とは、かつて日本の歴史過程の中で生み出された部落差別が、現代社会に今も残っているという問題です。特定の地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、日常生活の上でさまざまな差別を受けている現実があります。このことは、重大な人権問題です。同和問題の早期解決をめざして、福岡県では、県民一人ひとりの理解と協力を得るために、昭和56年から毎年7月を、同和問題啓発強調月間と定め、県内各市町村で、差別をなくす取組を進めています。同和問題等の人権問題の解決には、偏見をもたずに正しく知る（学ぶ）ことが大切です。学校でも人権教育を進めていますが、ご家庭でも人権問題についてお話ししていただきますようお願いいたします。差別をすることは恥ずかしいことです。みんなで社会から差別をなくしていきましょう。